

令和6年6月28日
復興庁

令和5年度 地域復興マッチング「結の場」及びイノベーション創出型「結の場」(福島)の成果について

復興庁では、被災地域事業者が抱える販路開拓や新商品開発といった経営課題の解決を図るため、支援提案事業者とのマッチングの場を通じてアドバイスや商談の機会を提供する「地域復興マッチング「結の場」」を実施しており、令和5年度も経営課題の解決への一助につながるマッチングの形成に取り組みましたので、その成果をお知らせします。

また、令和3年度から始めた新たな事業である「イノベーション創出型「結の場」(福島)」において、イノベ構想重点6分野を中心としたオープンイノベーションの活性化等に向けた取り組みを行いましたので、こちらの成果についてもお知らせします。

(添付資料)

- 別紙1 令和5年度地域復興マッチング「結の場」の開催について
- 別紙2 令和5年度地域復興マッチング「結の場」参加事業者一覧
- 別紙3 令和5年度地域復興マッチング「結の場」の成果
- 別紙4 イノベーション創出型「結の場」(福島)の成果

【本件に関するお問い合わせ先】

復興庁 企業連携推進室 西沖、萱沼、岩淵
中村(奈)、保住
中村(太)

令和5年度地域復興マッチング「結の場」の開催について

地域復興マッチング「結の場」について、3県（岩手県、宮城県、福島県）の被災地域事業者を対象としたワークショップを合同で開催しました。

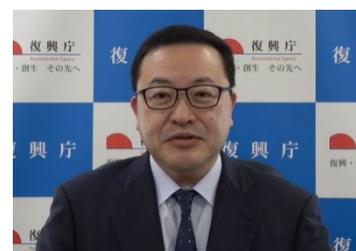
<開催概要>

1. 日時： 令和5年10月17日（水） 10:30～16:00
2. 形式： オンライン会議（Zoomを使用）
3. 主催： 復興庁、岩手復興局、宮城復興局、福島復興局
4. 参加： 被災地域事業者 23 事業者 支援提案事業者 21 事業者（別紙2参照）

■ワークショップの様子

今回のワークショップは、オンライン形式で実施しました。開会に先立ち、角田隆事務次官からビデオメッセージによる挨拶を行いました。事務次官からは、結の場を通じて、できる限り多くの連携事業が創出されることへの期待が述べられました。

被災地域事業者は岩手県内及び宮城県内の沿岸地域に加え、福島県内の広域から申し込みがあり、販路拡大や売上の拡大を模索する食品製造加工、販売事業者を中心に23事業者に参加いただきました。また、支援提案事業者は、食品関係の卸・小売事業者を中心に21事業者にご参加いただきました。



角田事務次官の開会挨拶



結の場の当日の様子

<支援提案の状況>

■支援提案件数

支援提案事業者から被災地域事業者への支援提案件数は延べ 141 件となりました。

■支援提案事業者からの提案例

- ・ 販路開拓及び販売促進（取引先への紹介、通販サイトへの商品の掲載、社員食堂でのメニュー採用、社内販売会の開催）
- ・ 商品開発（パッケージやデザインについてのアドバイス等）
- ・ EC・通販事業全般のサポート
- ・ SNS等を活用した情報発信等による差別化戦略アドバイス
- ・ 商品プロモーションについてのアドバイスおよび支援
- ・ 工場視察の実施

参加事業者・団体（五十音順）

【被災地域事業者：23 事業者】

1	株式会社あぶくまビール	2	株式会社海心	3	釜石振興開発株式会社
4	特定非営利活動法人きらら女川	5	元正栄北日本水産株式会社	6	有限会社佐々菊商店
7	株式会社七福茶本舗 佐藤海苔店	8	株式会社信濃屋	9	株式会社鮮冷
10	田老町漁業協同組合	11	一般社団法人 地域おこし協力隊活動推進協会	12	浜福
13	パティスリーフィエルテ	14	株式会社東松島長寿味噌	15	株式会社 フロンティアいわいずみ
16	有限会社益蔵	17	株式会社松葉園	18	株式会社マルカ高橋水産
19	マルナカ遠藤水産	20	有限会社満福農園	21	株式会社ミシェル
22	株式会社山形屋商店	23	株式会社吉成食品		

【支援提案事業者：21 事業者】

1	アルプスアルパイン株式会社	2	イオンスーパーセンター 株式会社	3	イオン東北株式会社
4	株式会社魚国総本社	5	エームサービス株式会社	6	カゴメ株式会社
7	紀尾井町戦略研究所株式会社	8	シダックス株式会社	9	株式会社食一
10	株式会社 JTB	11	株式会社仙台三越	12	大日本印刷株式会社
13	株式会社西原商会	14	株式会社ニユートーキヨー	15	日本航空株式会社
16	株式会社ベイシア	17	株式会社マルト商事	18	三井住友海上火災保険 株式会社
19	森永乳業株式会社	20	ヤマト運輸株式会社	21	株式会社 LIXIL

支援提案事業者が自らの経営資源を幅広く提供し、被災地域事業者が抱える多様な経営課題の解決を図ることを目的として対話の場を提供。

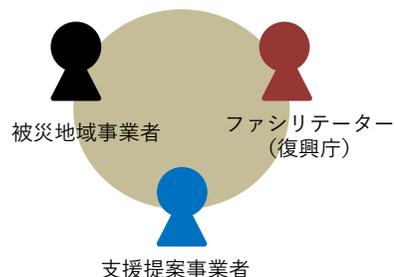
1. 令和5年度の開催ポイント

参加企業について

- 被災地域事業者数 23事業者
(食料品製造加工、販売企業が中心)
- 支援提案事業者数 21事業者
(卸・小売企業が中心)

開催方法

- 1対1 オンラインマッチング



令和5年度のオンラインマッチングイメージ



結の場当日の様子

2. マッチング件数、内容について

マッチング件数について

- 支援提案事業者より141件の支援提案
- 【支援提案の例】
- 社員食堂でのメニュー採用、社内販売会の開催
- スーパー店舗における商品の継続的な取り扱い
- 工場視察の実施 など

3. 過去の「結の場」開催実績について

- 平成24年度から令和5年度までに延べ40回
(岩手12回、宮城16回、福島12回)
- 参加被災地域事業者数 延べ364事業者
- 参加支援提案事業者数 延べ1,027事業者

- ・ 福島発のイノベーション創出につなげていく取組として、R3年度より開催している新しい「結の場」。
- ・ イノベ構想重点6分野を中心にオープンイノベーションの活性化等を目的に「福島から世界を目指すディープテックベンチャーによるピッチイベント」と題し開催。

1. 令和5年度の開催ポイント

参加企業

- ・ 登壇者：浜通り地域等のインキュベーション施設の入居企業(8社)
- ・ 聴講者：金融機関、投資家、ベンチャー企業、福島県外企業、研究機関等計54団体、84人

開催方法

- ・ オンライン/会場(東京・日本橋)ハイブリッド形式。後半には名刺交換・交流会を開催。

2. 内容について

プログラム

- ・ 開会挨拶
- ・ 福島県での各種施策紹介 (復興庁)
- ・ インキュベーション施設ご紹介
- ・ ディープテックベンチャー8社によるピッチイベント
- ・ 名刺交換、交流会

結果

名刺交換の他、当日のべ18件について連絡要請を受け、個別フォロー実施中。

3.過去の「結の場」開催実績について

- ・ 令和3年度から令和5年度までに延べ8回
- ・ 内容：福島県内個別企業、研究機関とのマッチング
ロボット・ドローン セミナー
新エネルギー（水素）セミナー
バイオ医薬品 セミナー



▲ 結の場当日の様子